

科目分類	専門基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	臨床病態論 I (呼吸・循環)	学 期	後 期	松本 祐二 (医師) 越智 弘 (医師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目的 (ねらい)	病態生理学で学んだ基礎的な病態に関する知識をもとにして、全身あるいは各臓器に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。			
目標	1. 呼吸器系に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。 2. 循環器系に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。			
授業計画	担当教員：松本 祐二			
	1. 呼吸			
	回数	単元項目	内容	授業形態/講義
	1	呼吸器症状と病態生理	・呼吸器疾患の自覚症状・他覚症状と病態生理	
	2	気道疾患	・気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患の病態、治療	
	3	肺腫瘍	・肺腫瘍（良性腫瘍、悪性腫瘍）の病態、治療	
	4	呼吸器感染症	・肺炎、インフルエンザの病態、治療	
	5	胸膜疾患	・気胸の病態、治療	
	担当教員：越智 弘			
	2. 循環			
回数	単元項目	内容	授業形態/講義	
1	循環器の構造と機能 症状とその病態生理	・心血管系の構造と機能 ・循環器疾患における症状と病態生理		
2	疾患の理解(1)	・虚血性心疾患の病態と検査・治療		
3	疾患の理解(2)	・心不全・血圧異常の病態と検査・治療		
4	疾患の理解(3)	・心電図の基礎と不整脈		
5	疾患の理解(4)	・心臓弁膜症・血管（動脈・静脈・リンパ管）系の疾患の病態と検査・治療		
教科書	(呼吸) 1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学② 呼吸器 (医学書院) (循環) 2. 系統看護学講座専門 成人看護学③ 循環器 (医学書院)			
参考文献				
評価方法	定期試験 100% 1. 呼吸 (100点×0.5) 2. 循環 (100点×0.5) 合計 100点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、病理学総論、生化学、栄養学、薬理学、看護学			
自己学習に関する指針	(呼吸) 字を手で直接、紙に書き、声を出して文字を読むことで知識を確実なものにする。 (循環) 教科書に沿った講義内容です。各講義で用いるパワーポイントの配布資料を参考にして学習してください。			
その他の 通知事項	随時質問に応じる。			